

## つなげよう希望に満ちた播磨道

播磨自動車道※(たつの市~宍粟市)は、山陽自動車道 播磨JCTから分岐し、中国自動車道 山崎JCT(仮称)へ至る、約24kmの高速道路です。

平成15年3月に播磨JCTから播磨新宮ICまでの12.8kmが開通しており、現在は播磨新宮ICから山崎JCT(仮称)までの建設事業を進めています。  
※路線名『中国横断自動車道 姫路鳥取線』播磨JCT~播磨新宮IC、佐用JCT~鳥取ICについては供用中

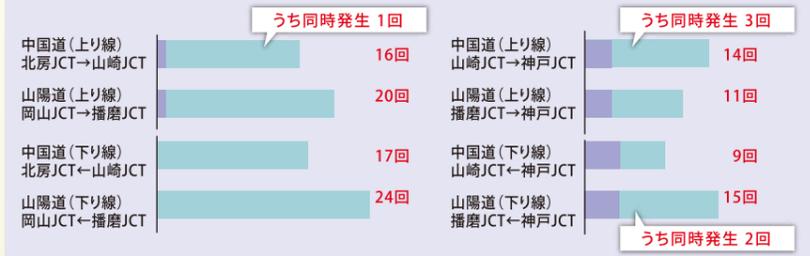


## アクセスの向上 (播磨自動車道 整備効果)

播磨自動車道(播磨新宮IC~山崎JCT(仮称))が整備されると、播磨科学公園都市周辺の更なる活性化が期待されるとともに、中国道と山陽道の相互連絡箇所が増加し、通行止め等のう回路としての利用や、高速道路の利便性が向上します。

中国自動車道と山陽自動車道の播磨科学公園都市から大阪方面、中国方面へのWルートの形成  
通行止め時等におけるう回路が拡大

■中国道・山陽道の通行止め回数(平成27年~平成29年の3カ年計)



出典:NEXCO西日本調べ



※過去3年、中国自動車道・山陽自動車道は豪雨や積雪に伴う通行止めを除いて、並行するJCT間で同時に通行止めは発生していない。

## JICA(国際協力機構)研修生が 播磨道の工事現場を視察に来られました!

11月13日にJICA(国際協力機構)の研修生の方々が、播磨道の建設現場を視察に来られました。中東や東南アジアから、計13名の方にご参加いただき、播磨新宮IC工事の現場を見学し、現場管理の手法や、橋脚や盛土等の建設工程等の説明を受けました。

また、ひょうご環境体験館では、移植した希少植物の見学や施設案内等を通じて、日本の社会基盤整備について学ばれました。



## 現場ではたらく大型ダンプ!

筋原トンネル工事の現場では、写真のような大型のダンプが使用されています。正式名称は「アーティキュレートダンプトラック」。一般的には「重ダンプ」と呼ばれ、当現場で使用している重ダンプは、一度に最大で約25tの土砂を運ぶことができます。写真(右)の斜面は勾配がなんと20°近くありますが、軽々と登っていきます。当現場ではこのダンプが3台稼働しており、地山を掘削した時に発生する、大量の土砂を運搬する際に、重ダンプが大活躍しています。



## 中国道の冬期交通確保に向けて

福岡管内の高速道路での雪氷作業安全を願い、11月に安全祈願祭を執り行いました。今冬も、管轄する中国自動車道 吉川IC~佐用IC間の降雪時の高速道路の円滑かつ安全な交通確保に向け、鋭意、凍結防止や除雪作業を行いお客様に安心、安全して走行いただけるよう取り組んでいきます。

厳しい寒気による凍結、積雪が予想される場合は、予め、冬用タイヤを装着して頂き、お出かけ前には事前に道路交通情報を入力して頂き、十分に注意してご走行いただきますようお願いいたします。



はりま  
★  
ハイウェイ

走ろうっ! つかえん! つかえん!

VOL. 5

平成31年1月

中国自動車道 山崎JCT(仮称)付近